

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
経営情報学部	経営情報学科	夜・通信	0	78	0	78	13		
	事業構想学科	夜・通信			0	78	13		
グローバルスタディーズ学部	グローバルスタディーズ学科	夜・通信		18		88	106	13	
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ 2023 年度「情報公開」(3) 修学上の情報等へ「実務経験のある教員」のページを設け、以下 URL にて公開している。

◆経営情報学部

<https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3-1-8.pdf>

◆グローバルスタディーズ学部

<https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3-1-9.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「2023年度情報公開 (2)教育研究上の情報 7. 寄附行為等 役員等名簿」
<https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	国立大学 特任教授	2022. 2. 1 ~ 2026. 1. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人 評議員	2022. 2. 1 ~ 2026. 1. 31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①授業計画(シラバス)の作成過程 授業計画作成のガイドラインに沿って必須項目、作成方法を教員に周知している。提出された原稿は第三者チェックを行い、記載内容に不備が無いことを確認している。</p> <p>②授業計画(シラバス)の作成・公表時期 授業計画作成にあたっては、教務委員会にて作成のガイドラインを定めた上で、授業担当教員は授業計画を作成し、教務委員会に提出する。教務委員会内に「シラバスチェック委員」を配置し、12月に予め定めたチェック項目について審査し、適時修正依頼等を実施する。上記のプロセスを経て、2月に初校を作成、3月にWEB上で公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページで公表している。 (2023年度情報公開)</p> <p>◆経営情報学部 https://next.tama.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Pkx003</p> <p>◆グローバルスタディーズ学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/3_3[A1]_5.pdf[A2]</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)に、評価方法(レポート、テスト等)及び各評価要素の割合を明記している。(全授業が対象)</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>①成績評価における客観的指標 (GPA) の設定 授業に対して5段階の成績評価(A+(P)・A・B・C・F)をつける。その評価を4から0までのGP (Grade Point) に置き換える。GPと単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点をGPAとしている。</p> <p>②成績分布状況の把握 全学生のGPA分布を学期毎、学年毎に把握している。 学生はポータルサイトで、学期毎及び累計GPAを確認することが可能。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>GPA算出方法を以下のURLで公開している。</p> <p>◆経営情報学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/08/smis_handbook.pdf</p> <p>◆グローバルスタディーズ学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/08/sgs_handbook.pdf</p> <p>◆アセスメントポリシー https://www.tama.ac.jp/guide/policy/assessment.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>①卒業の認定に関する方針の具体的な内容 ディプロマポリシーにより、育成する人材像を明確にしたうえで、5つの学修成果目標を定め、学位授与方針としている。</p> <p>②卒業の認定に関する方針の実施状況 各授業科目が、ディプロマポリシーでうたう5つの学修成果目標のどれを育成するものであるかをシラバスに掲載し、可視化するとともに、卒業要件として必要な科目、単位数等を明示している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ディプロマポリシーを以下URLで公開している。 https://www.tama.ac.jp/guide/policy/diploma.html</p> <p>卒業認定に関する詳細は、以下URLで公開している。</p> <p>◆経営情報学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/08/smis_handbook.pdf</p> <p>◆グローバルスタディーズ学部 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/08/sgs_handbook.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
財産目録	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
事業報告書	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html
監事による監査報告(書)	https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tama.ac.jp/guide/project/jiko.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営情報学部、グローバルスタディーズ学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.tama.ac.jp/guide/idea/mission.html) (概要) 多摩大学は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に寄与する指導的人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.tama.ac.jp/guide/policy/diploma.html) (概要) 学修成果目標を達成し「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.tama.ac.jp/guide/policy/curriculum.html) (概要) 「志」の高い「多摩グローバル」人材を育成するため、ディプロマポリシーで掲げた 5 つの教育目標に求められる体系的な教育課程を、カリキュラムを通じて実現する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.tama.ac.jp/guide/policy/admission.html) (概要) 地域に密着しつつ、世界に目をひらき、地域社会、グローバル社会に貢献する高い志を持った人物を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/2_2_4.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数 (本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
経営情報学部	—	22人	9人	5人	0人	0人	36人
グローバルスタディーズ学部	—	10人	8人	2人	0人	0人	20人
b. 教員数 (兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		111人					111人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページにて公表 https://www.tama.ac.jp/guide/teacher/list01.html https://www.tama.ac.jp/guide/teacher/list02.html					
c. F.D. (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学部	317人	327人	103.2%	1280人	1446人	113.0%	12人	3人
グローバルスタディーズ学部	147人	108人	73.5%	600人	592人	98.7%	12人	1人
合計	464人	435人	93.8%	1880人	2038人	108.4%	24人	4人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学部	324人 (100%)	2人 (0.6%)	283人 (87.3%)	39人 (12.1%)
グローバルスタディーズ学部	134人 (100%)	0人 (0.0%)	121人 (90.3%)	13人 (9.7%)
合計	458人 (100%)	2人 (0.4%)	404人 (88.2%)	52人 (11.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>全授業科目の、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画は、授業計画（シラバス）に記載し、1年生には製本版シラバスで配布し、それ以外の学年の在学者、外部には多摩大学ホームページの「情報公開」のページで公開している。</p> <p>◆経営情報学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業科目一覧 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3_3_1.pdf 授業計画（シラバス） https://next.tama.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Pky003 <p>◆グローバルスタディーズ学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業科目一覧 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3_3_2.pdf 授業計画（シラバス） https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3_3_5.pdf

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>◆経営情報学部</p> <p>シラバス (https://next.tama.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Pky003) と学生ハンドブック (https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/08/smis_handbook.pdf) 内の対応項目、「評価基準」、「評価方法」にて公開。また卒業認定にあたっての基準も公開。学修成果の評価方法について FD を実施し、教員に周知した上で、授業計画作成時に試験、レポート、課題など、どのような方法をどのように重み付けし評価するかを明示することとしている。</p> <p>◆グローバルスタディーズ学部</p> <p>多摩大学 HP の「情報公開」のページにて公開 https://www.tama.ac.jp/guide/open/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業科目、授業の方法及び内容 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3_3_2.pdf 授業計画（シラバス）：学修の成果に係る評価を公開 https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/03/3_3_2.pdf 学生ハンドブック：卒業又は修了の認定に当たっての基準を公開 [A3]https://www.tama.ac.jp/guide/open/document/open2023/08/sgs_handbook.pdf

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営情報学部	経営情報学科	124 単位	有・無	単位
	事業構想学科	124 単位	有・無	単位
グローバルスタ ディーズ学部	グローバルスタ ディーズ学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: https://www.tama.ac.jp/guide/campus/tama.html https://www.tama.ac.jp/guide/campus/shonan.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営情報学部	経営情報学科	700,000 円	300,000 円	280,000 円	左記に加え入学時に施設拡充費として50,000 円徴収。
	事業構想学科	700,000 円	300,000 円	280,000 円	左記に加え入学時に施設拡充費として50,000 円徴収。
グローバル スタディ ーズ学部	グローバル スタディー ズ学科	900,000 円	200,000 円	280,000 円	左記に加え入学時に施設拡充費として50,000 円徴収。
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要)
・ オフィスアワー 専任教員はあらかじめ設定された時間帯に研究室で待機している。非常勤講師は設定された時間帯がないため、授業後の時間帯を活用またはメールで相談するよう案内している。
・ 学修サービス窓口 (経営情報学部) 6名の専門教職員が、学修支援・IT 支援・図書サービスなどワンストップの教育・学修のサポートを行っている。また、海外研修・企業研究・地域研究・キャリア・教養・資格など国内外での21 に及ぶAL プログラムを提供している。
・ 学習支援室 (グローバルスタディーズ学部) 「レポートの書き方」「プレゼンの仕方」といった大学での専門的な学修の前提となるアカデミックスキルを教えるだけでなく、学生生活の相談にも対応している。月曜日～金曜日の午後 に開室している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

◆経営情報学部

2年生より4年生まで3年間ゼミに所属し、研究やプロジェクトを通して学力を身につけると共に学内外の仲間・先生・社会人との交流を通して社会人基礎力を身につけていく。また、就職活動本番となる3年生からはキャリア支援課職員がゼミごとに担当を持ち、個別面談、エントリーシート・履歴書添削、求人紹介などを行う。

<https://www.tama.ac.jp/career/smis/index.html>

◆グローバルスタディーズ学部

1年次のキャリア形成論からキャリア教育がスタートし、2・3年次の夏休み・春休みに実施される民間企業、NPO法人等の各種団体などを中心とした国内外のインターンシップへの参加により、就業感の早期醸成を目指している。3年次においては就職活動に直結する実践的プログラムを導入するとともに、キャリア支援課との個別面談、履歴書などの添削指導を行い、将来の進路に対する意識の確立をはかっている。

<https://www.tama.ac.jp/career/sgs/index.html>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

両学部とも毎年4月に学生健康診断を実施し、学生の健康保持増進に努めている。傷病者に対しての応急対応や様々な悩みに対して、保健室での健康相談、悩み相談を行っている。さらに専門家（臨床心理士や産業カウンセラー）によるカウンセリングを週3日実施している。健康に関する情報（感染症の流行状況、熱中症など）を適宜掲示配信し、注意喚起している。

経営情報学部：<https://www.tama.ac.jp/student/smis/index.html>

グローバルスタディーズ学部：<https://www.tama.ac.jp/student/sgs/007.html>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tama.ac.jp/research/index.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F113310103938
学校名	多摩大学
設置者名	学校法人田村学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		167人	164人	178人
内 訳	第Ⅰ区分	108人	103人	
	第Ⅱ区分	35人	38人	
	第Ⅲ区分	24人	23人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				180人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽り或其他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	15人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

年間	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		前半期	後半期
—			

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	—		
GPA等が下位4分の1	12人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	12人		
計	18人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

